



平成27年度夏 VPcamp受入機関 アンケート結果

平成27年11月18日
VPcamp事務局

● アンケートの目的

- ・ 実習の事後評価
- ・ 実習プログラムおよび事務局の課題点発掘
- ・ 広報用データの収集

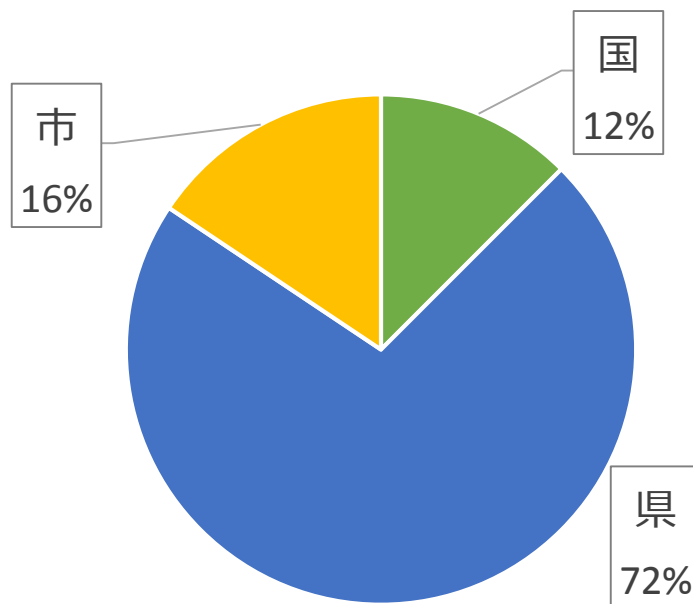
● アンケートの方法

- ・ 記名式
- ・ 実習終了後、受入機関に対してWEBフォームによるアンケート回答をメールで依頼した。

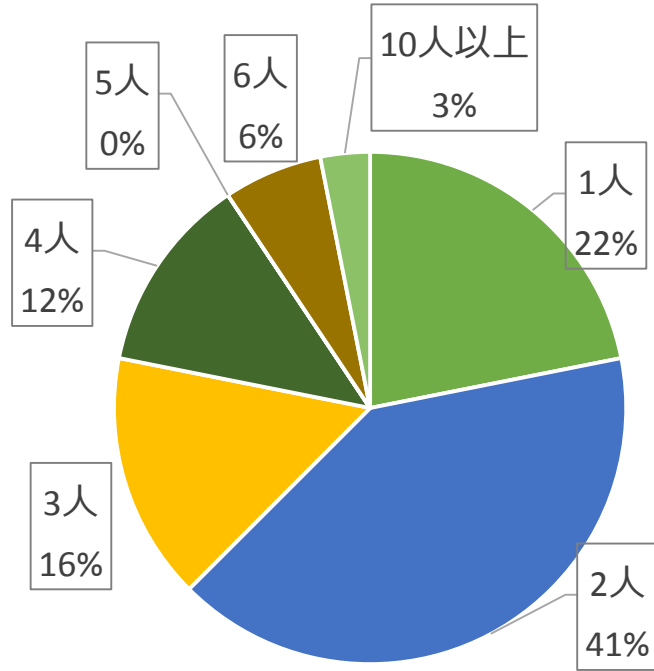
<http://vetintern2.codia.jp/surveyinstitution/>

- ・ 10/30(金)までに32機関より回答があった。

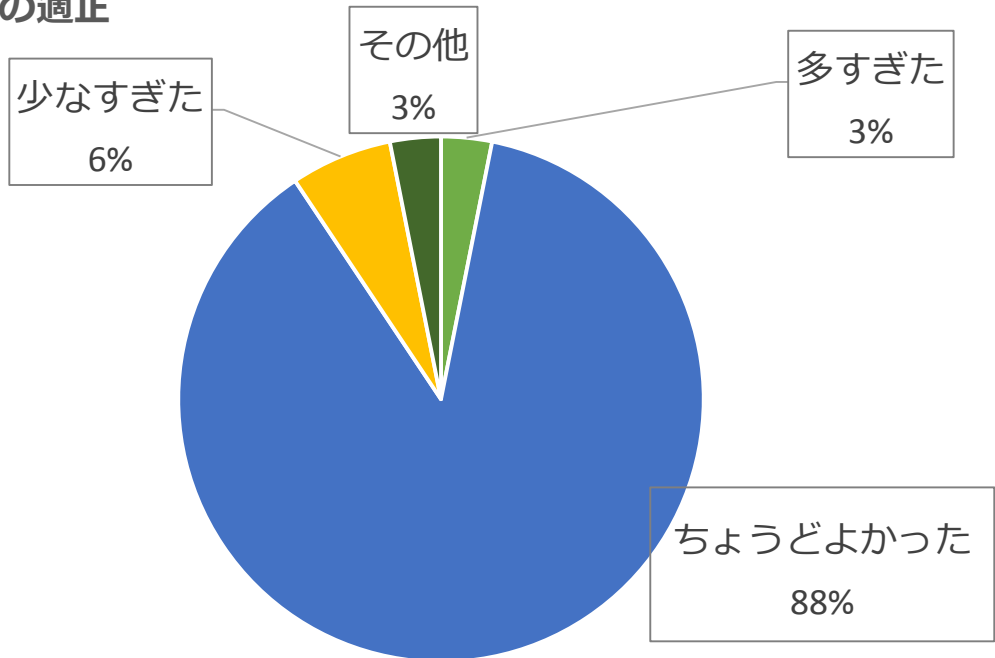
回答機関の所属



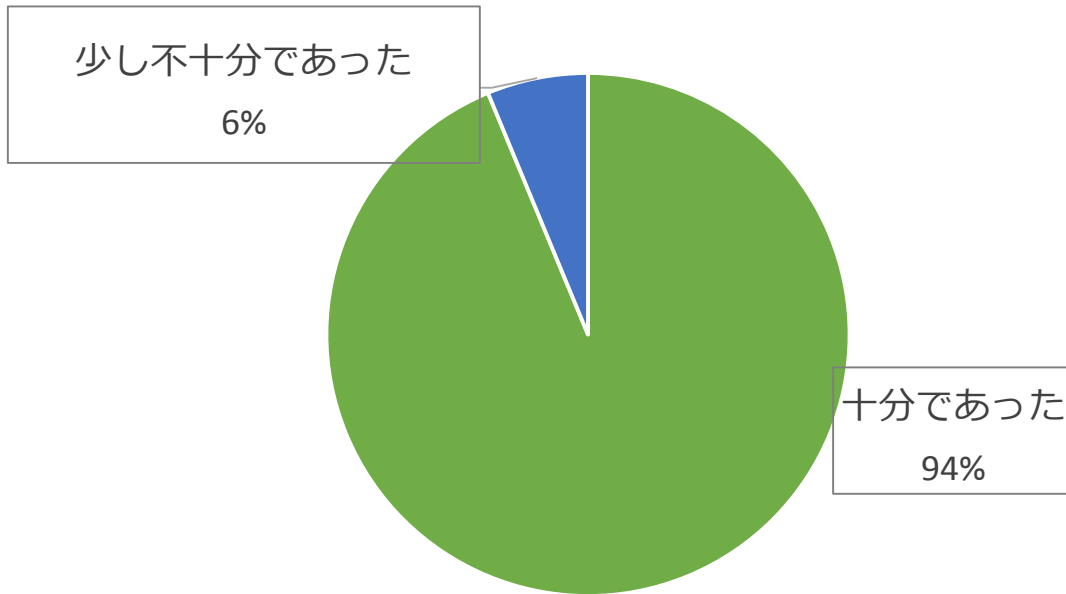
受入人数



受入人数の適正



学生の知識レベル



実習に参加する学生にどのような事前講義が必要ですか。

微生物学、公衆衛生学。

と畜場法（と畜検査）、食肉衛生行政、食鳥検査法、HACCP概要、狂犬病予防法、動物愛護法、食品衛生法、微生物学（細菌、ウイルス）等。

大学4，5年生であれば、ほぼ必要な知識を学習しておられるので、事前講義は必要ないと思います。

実際の業務や厳しさも伝える必要がある。

私が担当したのは獣医師公務員の全体像についてのレクチャーだったので、特に事前に講義が必要とは感じなかった。

- ・と畜場法、食品衛生法等の公衆衛生関連法規
- ・公衆衛生獣医師の役割や業務内容
- ・一般的な細菌検査手技

公衆衛生に関する基礎知識。

動物愛護や狂犬病に関すること。

大学での通常の講義・実習を受講していれば良い。

今回当所で、保健福祉事務所における獣医師が係る食品衛生、動物愛護、環境衛生、環境保全の各業務及び食品衛生の各種検査についてレクチャー後、当所食品衛生監視員に同行し食品販売施設の監視、食品衛生責任者実務講習会への参加など、食品衛生業務を経験してもらった。しかし、実際職員が幅広い部門で公衆衛生を担当しており基礎知識が十分あることを望むより、実体験で経験することで興味、勉学意欲が出るのではと思います。

特にないが、公衆衛生にかかる講義を受けているとより良い。

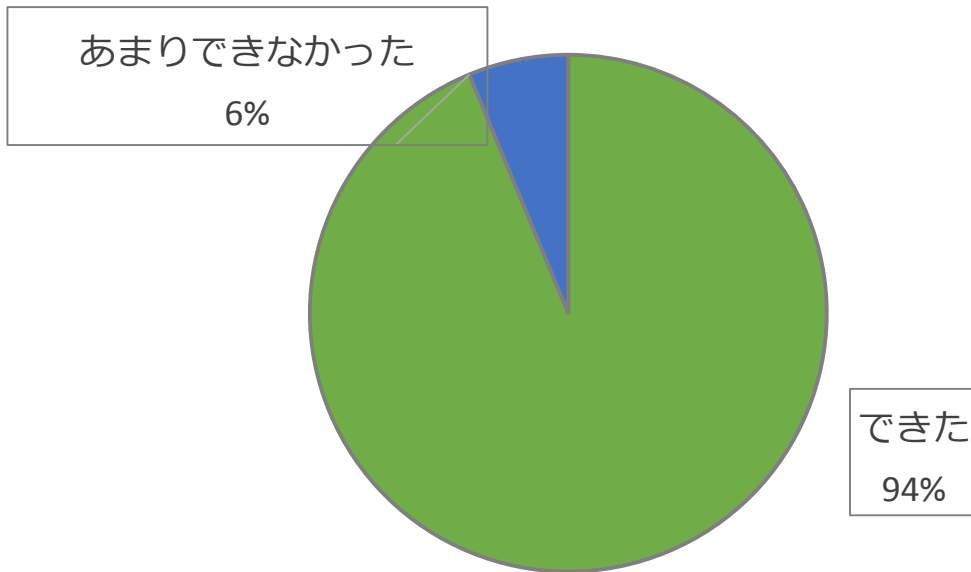
動物愛護行政全般。人畜共通感染症 等。

酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律、家畜改良増殖法、家畜伝染病予防法に関連する内容を概要で良いと思いますので、事前に講義いただければ、より高い体験ができるのではないかと考えます。

特に必要な事前講義は求めておりませんが、公衆衛生分野の現場においても獣医師が働いているということを理解いただければ十分であると考えてます。

と畜検査について・食品衛生について。

学生のスキル獲得

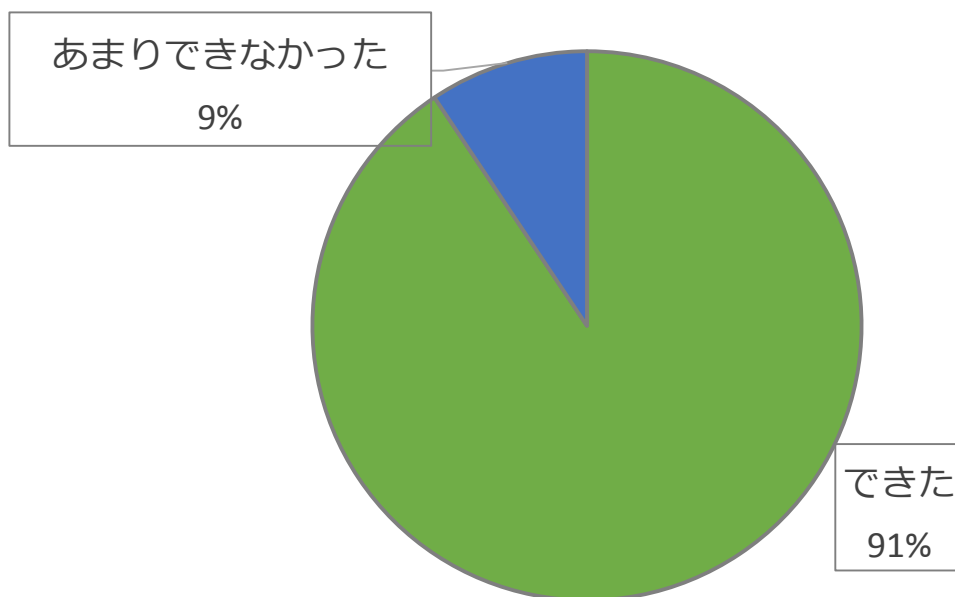


出来なかった理由

こんな短期間に習得できないと思う。しかし、自らの疑問の一部は解決できたと思う。

施設側の都合により、予定していたプログラムをこなせなかったため。

就職先の関心増大



出来なかった理由

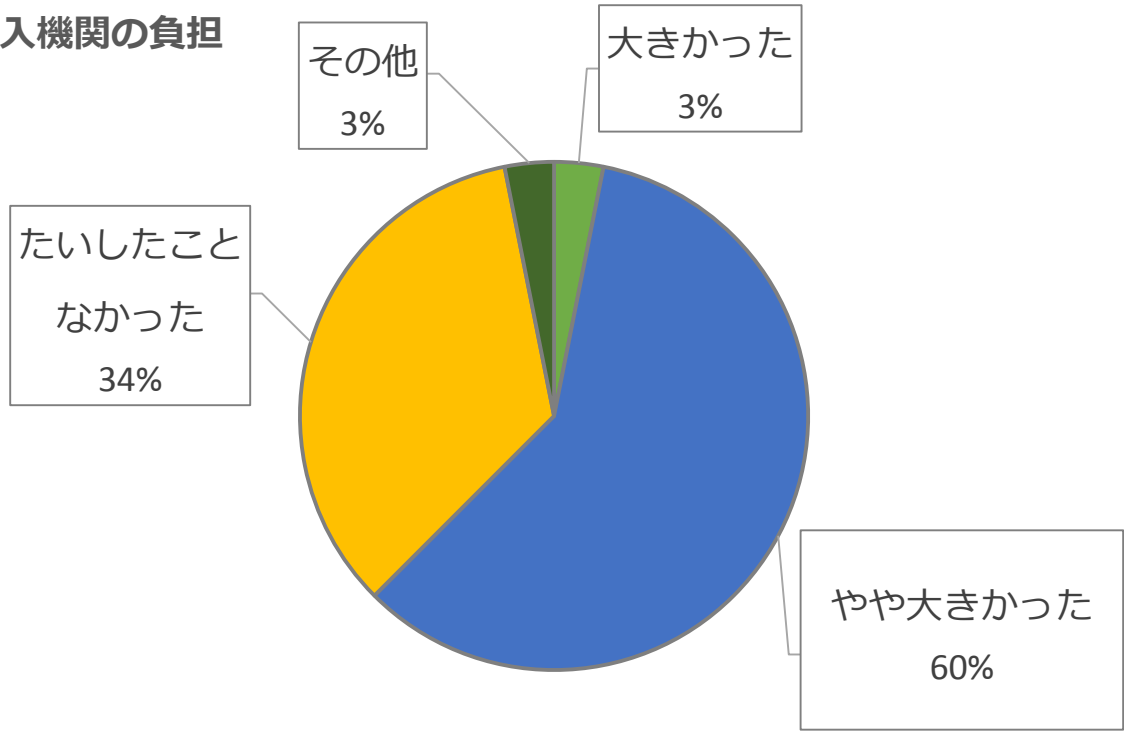
学生に興味をもってもらえたと思うが、就職先の選定の参考となるほどの効果があったかどうかはわからない

関心は持ってもらえたと思うが、報酬面など、不利である。

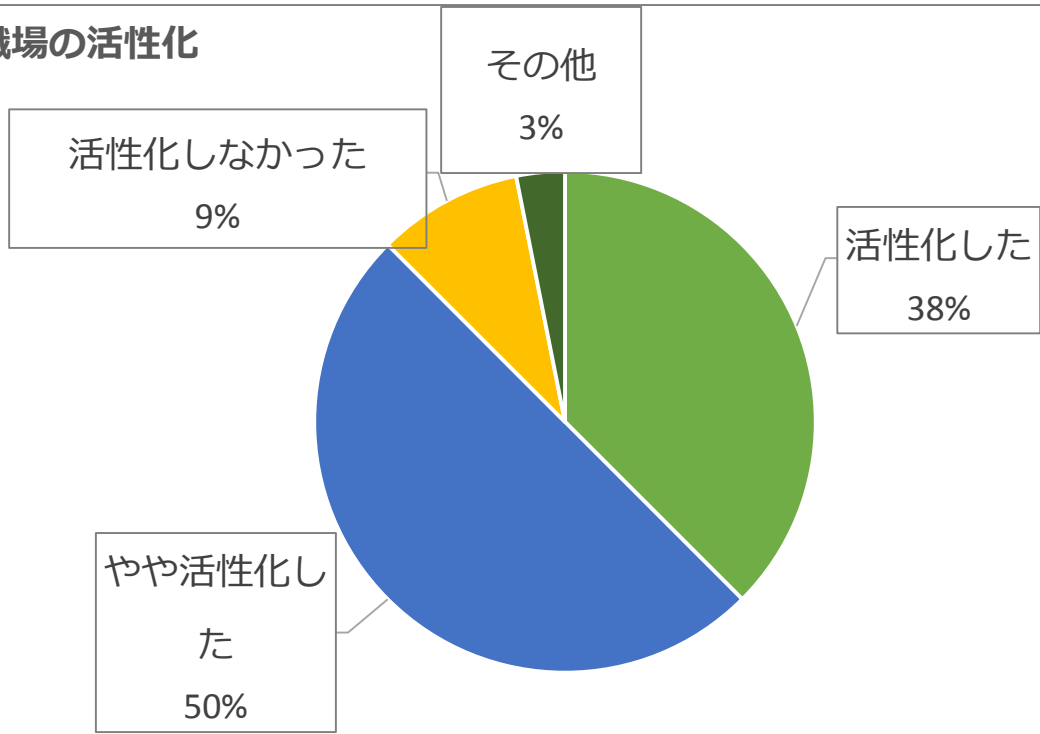
県出身者や県内大学の学生については、大いに関心を増大させることができたが、そのいずれでもない学生については、県採用試験を受ける可能性がほとんどなく、一般的な公務員獣医師の仕事を学んだに過ぎなかった。

就職先に関する踏み込んだ会話があまりできなかったため。

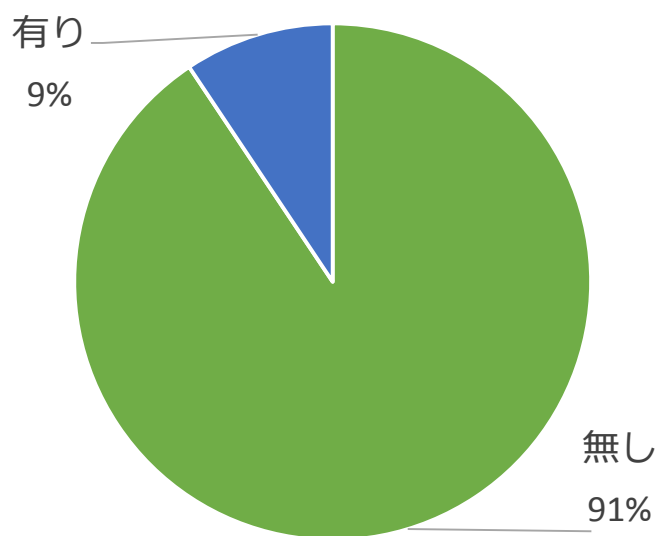
受入機関の負担



職場の活性化



緊急連絡先の使用有無



緊急連絡先を使用したケース

日誌の提出催促(携帯電話が通じず、緊急連絡先を使用)

初日の服装について連絡(携帯電話が通じず、緊急連絡先を使用)

<p>実施した実習プログラム（実習内容）の良かった点があれば教えてください。</p>	
<p>公衆衛生部門を一通り網羅したプログラムを設定したが、学生からはおおむね好評だったと思われる。</p>	<p>県</p>
<p>公務員獣医師の仕事 = と畜検査というようなイメージもあるので、狂犬病予防や食品衛生の業務紹介ができて良かった。</p>	<p>県</p>
<p>獣医師公務員の業務を具体的に理解してもらえた。</p>	<p>県</p>
<p>5日間という限られた期間の中で、集中して学生に実習させることができた。</p>	<p>県</p>
<p>大学ではほとんど馬を取り扱う機会がないようなので、学生さんにとってはいい経験になったと思う。</p>	<p>国</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現場検査及び精密検査の大半を網羅することができた。 ・実習の大半が座学ではなく様々な検査実技と一緒にやっていくものであったため、実習生のモチベーションがあがるのがわかりやすかった。実習生自身が学びたいという意思を伝えやすい環境が作れた。 ・病畜の聴診、触診などを経験できた。 	<p>県</p>
<p>現地調査への同行は、業務内容の理解に役立ったと思われる。</p>	<p>市</p>
<p>公衆衛生部門における獣医師がどのような職域を担っているのか、実体験ができたのではないだろうか。</p>	<p>県</p>
<p>実習項目を多岐、多数に設定したので、公衆衛生獣医師の広い職域を体験していただけたこと。</p>	<p>県</p>
<p>幅広い内容にて、実習、講義ともに実施できたこと。</p>	<p>市</p>
<p>日曜日から実習を開始したことで、動物愛護センターが取り組む啓発活動を帯同できました。</p>	<p>県</p>
<p>食品関係施設、理美容所等の監視指導への同行、試験検査の実習等保健所の仕事を体験し、また、保健所職員から仕事の話聞くことにより、保健所の仕事を具体的にイメージ出来て良かったのではないかと思います。</p>	<p>県</p>
<p>譲渡会等のイベント補助をしてもらい、行政と動物だけでなく、市民とのかわりも体験してもらえた。</p>	<p>県</p>
<p>獣医学生が就職先をイメージする時、最もイメージしにくいのが公務員獣医師の畜産分野であるとの意見を多く頂きました。現実の就職先とすれば、小動物開業につぐ多くの学生が就職いただいているものの、その職務の意義ややり甲斐を持って公務員獣医師を目指されているかは疑問に思っていました。今回、本県では畜産分野の実習も行わせていただく中で、学生からは公務員獣医師の職務について理解が深まったとの意見を頂き、目的は達成できたのではないかと考えています。</p>	<p>県</p>
<p>浅いながらも、多岐多様にわたる公衆衛生の現場を見ていただけた事は良かった点だと考えます。</p>	<p>市</p>
<p>と畜検査だけでなく、保健所食品衛生業務、市場監視業務、収去検査業務を一度に体験できたこと。</p>	<p>県</p>

<p>実施した実習プログラム（実習内容）の悪かった点があれば教えてください。</p>	
<p>新潟県の実習のポイントとして、新発田地区の新と畜場、長岡地区の動物愛護センターがセールスポイントになるが、新潟県は南北に長く、2地区に分けてのプログラムになってしまった。</p>	<p>県</p>
<p>5日間のうち最初と最後の2日間は、他施設見学ということで、私が公用車に乗せて案内したため、少し手間がかかりすぎるようにも感じた。</p>	<p>県</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現場検査では、検査中の職員に同行するのではなく、別の職員が同行して説明した方がより詳しく説明できた。 ・天候の影響により、計画より短時間で全ての実習プログラムを実施しなければならなかったため、無理に計画を実行し、実習生に休憩する時間を与えられなかった。今後は、実習プログラムに優先順位をつけ、不測の事態にも時間に余裕をもって対応できるようにしたい。 	<p>県</p>
<p>全体の実習期間中、保健福祉事務所の期間が1日と短かく小走りの状態になってしまった。</p>	<p>県</p>
<p>実習内容が多すぎた感がありました。</p>	<p>県</p>
<p>講義がやや多かったこと。 なお、このインターンシップ自体、生徒にあまり知られておらず、各大学側でも周知があまりなされていない。ホームページでも都道府県ばかりが目につき、市町村で獣医師が必要であることが認知されていない。生徒の手に届く形で募集活動をお願いしたい。</p>	<p>市</p>
<p>実施期間中に収容している動物が少なかったため、一部対応できないプログラムがありました。</p>	<p>県</p>
<p>治療・不妊手術等の病院実習を計画していたが、適当な動物がいなかった。</p>	<p>県</p>
<p>今回の実習プログラムを組むに当たり、実習先までの交通手段や消耗品等について、体系つけられるインターンシップの本格実施を考えられているのであれば経費のことも考えていただきたいと思います。 また、職場見学ではなくインターンシップとして責任もって受入るのであれば、今回ぐらいの人員が限界と考えます。そうすると、研修生の選抜については、本県を就職先の一つに考えてくださる獣医学生を優先できるように考えていただきたいと思います。</p>	<p>県</p>
<p>公衆衛生の性質上、その時々で違う内容になることがある点はやむを得ないことながら残念です。</p>	<p>市</p>
<p>研究室等ですでに実施しており、知識・技術がある内容の実習を予定してしまい、急遽変更した内容がありました。事前に十分に連絡を取り合い、内容を検討する必要を感じました。</p>	<p>県</p>

自由記入欄

研修内容の理解も問題なく、今回の研修により、今後の学生生活がより充実したものとなり、職業選択の一助となることを期待しています。	県
受入れの時期について、夏休み期間は他のインターンシップと重複するので日程の調整が難しい。（とは言え、学生と大学の都合を考慮すると他に適切な時期がない。）受け入れる学生の学年を揃えていただいたり、事前に学生の講座や出身地などの情報をお知らせいただくと話を進めやすいのでありがたい。	県
食肉衛生検査所での研修を3日間行ったが、最寄りのJR駅から研修施設までの公共交通機関がなく、県がタクシーを頼んで学生を送迎したが、これを公費で負担したので、鳥取県を受験する可能性のない学生にあっては無駄使いになっているのではないかと感じた。その分、大学内で口コミで広めてもらえれば、結果的に効果があったことになることを期待したい。	県
プログラム期間は、5日間、10日間のみではなく、受入機関で自由に設定できるとよい。遠方からの学生であり、宿泊・交通費等の負担軽減ができれば参加しやすいのではないかな。	県
当所でのインターンシップは、学生が研究所の雰囲気を感じることができる良い機会だと思います。学生のみならず研究所の活性化にとっても有益なことと考えますので、今後も引き続き実施出来ればと思います。	国
公衆衛生行政を担う獣医師の確保は、どの自治体も苦慮しており、学生との橋渡しとしてこのような制度はありがたいと思います。	県
今回、県独自事業である地元大学生を対象としたインターンシップ実習に組み込む形で実習を行ったため、合計5人の実習生を受け入れました。実習先への移動等を考えると、やや人数が多かったと感じました。	県
ホームページの改善、チラシの配布などを望む。	市
初めてのVPcampでしたがなんとか対応できたように思います。しかし、小学校の授業に係るプログラムの内容が、どうしても夏休み中には実施できないため、9月の実施となりましたが選択期間が短いため日程調整に苦労しました。	県
行政と動物の関係だけではなく、市民も含めた「人と動物の共生する社会の実現を図る」という動愛法の目的を、広い視野でとらえることを理解してもらえたと思う。	県
今回来られた学生は、少なくとも前向きに将来の就職先を見極めたいとの目的意識を持って臨まれておられたことが感じられた学生さんでしたので、本県としても、公務員獣医師が畜産振興に貢献している現場を体験していただくプログラムを組ませていただきました。指導を担当した職員からも好印象の学生であったと聞いています。この制度が定着していくためには、獣医学生の目的意識の高さにかかっていると思います。その対策について、よろしく願いいたします。	県
中核市である本市の場合、実習受け入れ時点では、実習生の採用年度の欠員状況等も不明であり、獣医師採用試験の有無も確定していないことから、本市への就職を強く勧誘することがためられる事が残念ですが、獣医学生に公衆衛生の「現場」を理解していただける良い機会と捉えており、VPcampの企画に感謝しています。	市
今回の反省点を活かし、次年度以降はより良いものにできればと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。	県
と畜場内の検査台が狭いことなどから、2名を一緒に行動させるのはやや負担となった。ただし、2名いることで議論の活性化や相互補完で理解が深まるなどの効果があったと思われる。	県